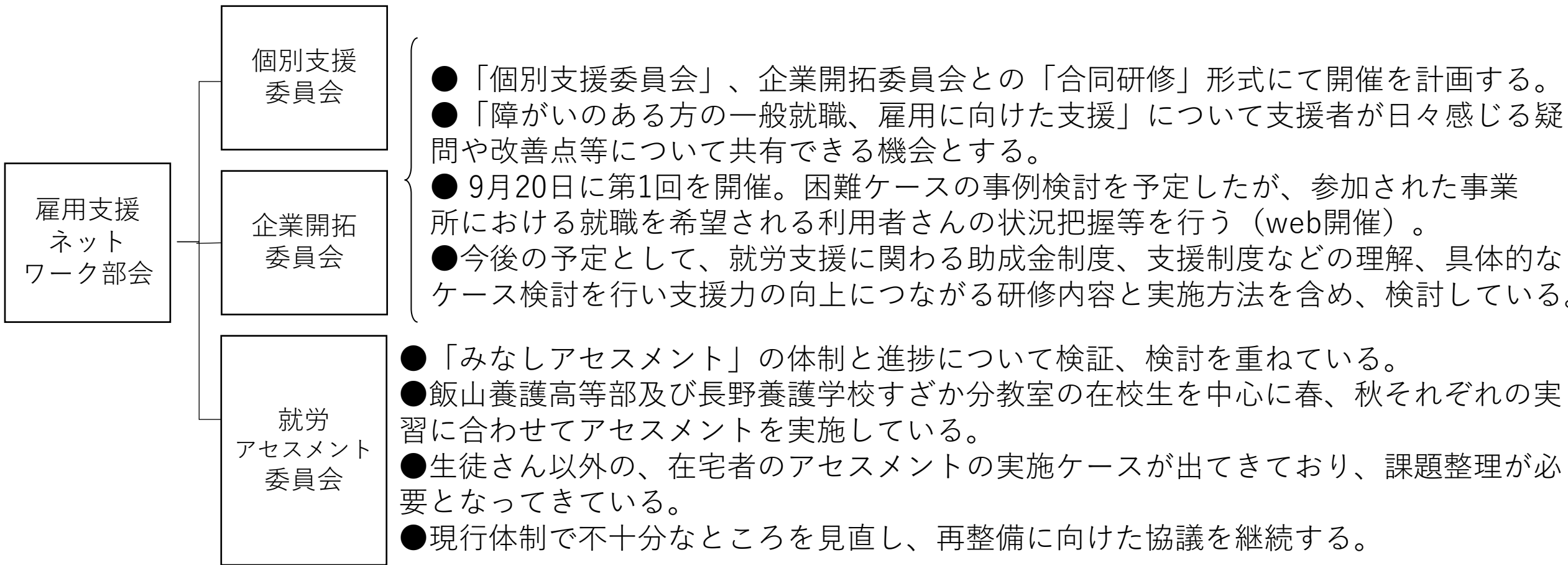


1、雇用支援ネットワーク部会 上半期活動報告

【目的】 障がい者の企業への就職と職場定着をより一層進めていくための、関係機関による連携協力体制の構築を目指し、働きやすい地域の体制創りの推進を目的とする。コロナ禍の社会・労働情勢に沿った就労支援の在り方について、地域としての協議を進める。



2、本人中心部会 上半期活動報告

【目的】 障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったより良いサービスが提供できる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活動できる場を広げ、後方支援していく。

本人中心部会

- 昨年度まで、活動していた3つのグループ（ニーズ聴きたい・つなげたい・いって来てやって委員会・ちいきにでかけ隊）は今年度休止中。令和6年度に向けて活動の見直しを行っていく。
- ヘルプマークの障がい者への普及と地域に対しての啓発を行っている。

ニーズ聴きたい・つなげたい

- ニーズや想いを聴き、つなげていく活動（想いの受け止め活動）を行う。またそれにより、聴くことのできる支援者を地域に増やしていきたい。令和6年度に向けて活動の見直しを行う。

いって来てやって委員会

- 地域のさまざまな資源を気軽に見て頂く事で生活の中の選択肢を広げて頂けるよう、当事者向けの見学・体験会を実施する。令和6年度に向けて活動の見直しを行う。

ちいきにでかけ隊

- 当事者実行委員会「みんなで楽しもう会」の活動を支援する。令和6年度に向けて活動の見直しを行う。

3、サービス向上部会 上半期活動報告

【目的】 地域の支援力の底上げをめざし、障がい理解や適切な支援ができる人を地域に増やしていく事を狙いとする。また、横のつながりを大切にし、情報共有の中から地域の課題の把握・提案を行っていく。

サービス向上部会

- 今年度はテーマを「つながる、広める」とし、支援者同士のつながり、事業所同士のつながり、地域資源とのつながり、他部会とのつながり等、様々なつながりを持ち、そのつながりやそこから生まれた成果等を広めながら、支援力の向上や課題の解決につなげていく。
- 現場支援者に向けた研修会について検討。1回目は権利擁護部会と共催で、権利擁護や虐待防止委員会を機能させる取り組みについて、それぞれの事業所での取り組みや好事例等を支援者間で共有できるワークショップを実施予定。実施に向けて準備を進めている。

暮らしの場グループ

- 障がい者のグループホームや入所施設利用者の高齢化について状況を共有した。介護認定がされており介護度がついていても、介護保険の施設に移行できない現状について意見交換をした。

ヘルパーグループ

- 昨年度に引き続きヘルパーの人材不足について状況を共有した。その一つの要因として、ヘルパー職に対する処遇があげられ意見交換を行った。

児童発達支援ネットワーク

- 放課後等デイサービス事業所と各市町村の放課後児童クラブでの課題について、そだちネットワーク部会と連携をし、協議を重ねている。

4、精神部会 上半期活動報告

【目的】 精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉等で連携して支援が行える体制を構築していく。更に啓発活動等を行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。

精神部会

- 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議
退院支援、地域への啓発、地域資源の充実等、必要な課題検討を行い、地域づくりを行っていく。そのために、2つの委員会を設けて課題検討を行う他、部会全体で以下の様な取り組みを実施していく。
 - ・「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」について改めて学習会を実施。（第1回部会）

地域移行支援委員会

- 地域移行時に病院が活用できる、市町村など地域連携の窓口一覧の作成。
- 精神科病院における長期入院患者の実態調査を行った。長期入院の現状について病院側と情報を共有した。

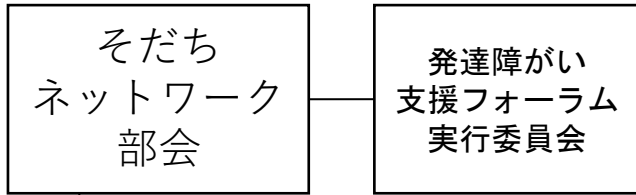
普及啓発委員会

- 地域の精神障害のピアサポーターの養成に向けて、ピアサポーターの養成についての学習会を行った。北信圏域で今後どのような取り組みが行えるか意見を出し合った。
- 当事者同士の交流の場「仲間としゃべろう会虹」について、開催方法や内容等を検討した。

5、そだちネットワーク部会 上半期活動報告

【目的】 様々な障がいや困り感をもっている子ども及び家族の気持ちに寄り添いながら、子どもや家族を支える地域の関係機関の連携体制を構築していくこと
～3つの基本的柱～

①子どもの困り感や特性に合わせた支援 ②家族の気持ちに寄り添う支援（障がい受容の伴走者であること） ③関係機関のネットワーク機能の充実



●北信圏域の特色を活かしたフォーラム開催を来年度に実施予定。今年度は月1回実行委員会を開催し、その前段階である支援関係者に向けた研修会の内容を検討中。

柱①WG
子どもの支援

●昨今話題になっている不登校について、1WGのメンバーの意見も含めて6市町村のことを話し合える場としていく。まずは現在取り組んでいる飯山市・中野市の実践について共有を図り、それぞれの町村の情報交換も行っていく。

柱②WG
家族の支援

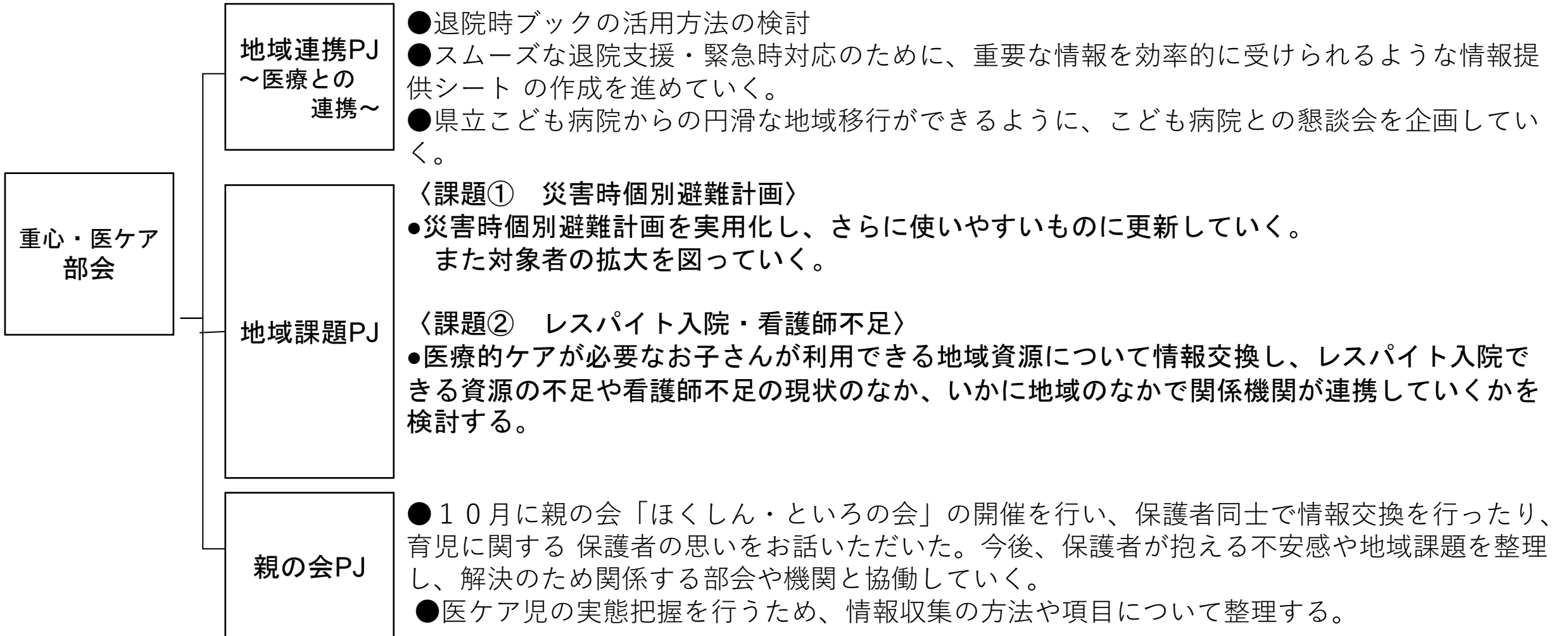
●子どもに関連した補助制度を必要としている家庭へ届けるための工夫」として、まずは支援者が制度を把握するために市町村ごとに制度一覧表を作成し完成させた。さらに、家庭への情報提供の漏れを防ぐため、説明の有無を確認できるチェックリストの作成と、支援者の相談のスキルアップにつながる学習会の開催についても検討を進めていく。

柱③WG
ネットワーク
充実

●今年度はサービス向上部会児童発達支援ネットワーク(通称キッズねっと)と連携し、「R4年度キッズねっとによる放課後等デイサービスについての実態調査」より抽出された課題についての検討を進めている。そだちネットワーク部会として扱う要素について整理し、キッズねっとをはじめ関係各所と連携して地域の放課後の仕組みの改善に取り組んでいく。

6、重心・医ケア部会 上半期活動報告

【目的】北信圏域に住む医療的ケアが必要な障がい児等とその家族が抱える実態や支援体制の現状と課題を把握し、支援を行う関係機関が連携してその課題解決に取り組むことにより、医療的ケアが必要な障がい児等が地域で安心して暮らしていくことができる体制を構築する。



7、権利擁護部会 上半期活動報告

【目的】 障がい者、高齢者等の権利をどう支えていくかについて、幅広い観点から、関係機関の連携協力体制を強化していく中で、誰もが住みやすい街づくりを目指していく。

権利擁護部会

- 部会員自身の学び・理解を深めるため、「権利擁護」に関する部会内研修会を企画。
- 年度当初に部会員からあげられた課題「身寄り問題」をテーマにホワイトカフェ形式での話し合いや事例共有等を行った。本日の会議でも協議して頂くこととした。
- 長野県権利擁護部会の内容について共有し、他圏域の取組みも参考にしていく

啓発・研修PJ

- 部会内研修の準備・実施を担当している。
- 「権利擁護」をわかりやすく伝えていくために、寸劇を用いた啓発活動を行っている。今年度は「身寄り問題」をテーマにした寸劇を行っている。

虐待予防PJ

- 虐待予防にむけた検討・活動を行っている。
- 障害福祉サービス提供事業所における虐待防止委員会設置義務化を受け、権利擁護や虐待防止委員会を機能させる取組みについて、それぞれの事業所での取組みや好事例等を支援者間で共有できるワークショップをサービス向上部会と共催で実施する。

差別解消運営PJ

- 北信圏域障害者差別解消支援地域協議会とその実務者会議の内容等について、PJ内での活動と地域の実情を見ながら検討していく。
- 昨年度実施した「こんな配慮が欲しかった」等の当事者の声を聞く取組みの内容から、今年度は地域のお店に対して障がい理解を目的とした活動を行う。チラシを作成、配布を行い、お店の従業員に向けて啓発を行っていく。

差別解消支援地域協議会 実務者会議

- 第5回権利擁護部会終了後、第1回実務者会議を開催予定。差別解消運営PJで作成した差別解消の為のチラシの内容等の確認と検討を行う。

8、幹事会 上半期活動報告

【目的】北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。

幹事会

- 9月に相談支援専門員から活動報告や地域課題の報告を受け、意見交換等実施。
- 第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画が今年度で最終年となることから、進捗状況を共有すると共に、第7期障害福祉計画の策定を進めている。

市町村課題 検討WG

- ケアプラン研究会を1回実施。実際の事例から市町村担当者と相談支援専門員それぞれが意識している部分について確認した。
- 圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会を7月に実施。相談支援専門員の行う計画相談のモニタリングの適正な頻度について意見交換をした。
- 生活介護事業所の不足について、生活介護事業所に市町村課題検討WGに参加を依頼し情報交換を実施。昨年度、市町村・事業所・相談支援専門員に対して実施した実態調査の結果を共有し、改めて事業所の課題を確認した。

地域生活支援 拠点等事業 検討会

- 「一人暮らし体験事業」について、利用者の様子をみながら、更なる充実に向けて検討。今後は、アセスメント機能に重点を置き実施していく。
- 研修会を通じて事業所間で協力できる関係を作ったり、お互いのスキルアップを図るための「助け合い研修」を下半期開催予定。
- 上半期の進捗確認を実施。下半期に力を入れる点について確認した。
- 拠点を担う認定事業所連絡会を実施。障がい児者の生活を地域全体で支える体制整備に向け地域生活拠点事業の目的やそれぞれの役割を再確認した。